学位被授与者氏名	黄　震（こう　しん）
論文題目	陶淵明の詩意における「思想文化」
論文審査結果の要旨	第 1 章、第 2 章はいくつかの節から構成されており、各節における詩の分析、考察は妥当で論理的に述べられている点は評価できる。しかしながら以下の点は注意点としてあげることができる。(1)各節における論述はすぐれているが、節と節の関係、また章と章の関係がわかりにくく章全体、また論文全体で何を述べようとしているのかがわかりにくくなっている。もう少し章立てを工夫する必要があった。(2)論文タイトルで思想文化という語に「　」が付けてあることから、この思想文化が論文のキーワードとなっていることがうかがわれるが、本文中にはあまり使用されていなかった。また本文中に出てくる思想、文化、哲学概念、哲学的思索などの語との関係もわかりにくかった。思想文化が何を表すのか明確に定義づけを行う必要があったであろう。(3)先行研究との違いをもっと明確に述べた方がよかった。(4)「命子」詩、「形影神・神釈」詩の解釈では少々強引に解釈しているところがあった。言葉の用例や前後のつながりを考えながら解釈した方が良かった。(5)参考文献にあげた文献に掲載誌名の書かれていないものがあった。ウェブサイトを参照したものがあったが閲覧日が書かれていなかった。 2025 年 2 月 21 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-329 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。